

学園だより

No59
令和5年5月

発行
広島県立広島学園
東広島市八本松町原 10844
電話 (082) 429-0351

新年度への思い

園長 川上 誠司

桜の開花とともに今年度の広島学園での生活が始まりました。桜の下で子どもたちが笑顔で写真に納まりました。この一年間、学校生活や生活寮での生活、様々な行事の中で、経験を積み、自信をつけてほしいと思います。

毎朝、寮ごとに並んで登校しています。どの子どもも元氣よく挨拶をしてくれます。東広島市立もみじ小学校・もみじ中学校では、少人数の授業を生かし、子どもたちの状況に応じた丁寧な学習支援が行われ、子どもたちもわかる楽しさを実感し、学習へのモチベーションも高まっています。

寮での生活では、規則正しい生活、分かりやすい日課の中で生活をし、細やかなルールも決められています。落ち着いた生活を送る中で、入所課題にも繋がるような課題も見えてきて、その都度職員と一緒に考えています。担当職員を中心とした、大人との関係も深

まっていくなかで、月日を追うごとに成長を感じられています。幾分窮屈な生活となりますが、長期休暇の際には寮での炊飯などの楽しみを入れた日課を入れたりしながら子どもたちの日頃の頑張りを支えていけるよう工夫しています。そのほかに季節の行事(門松飾り、とんどなど)を取り入れています。

クラブ活動は、春夏は、男子は野球、女子はバレーボール。秋冬は、男女とも駅伝マラソンと決まっています。集団スポーツの中で他者と協力して成し遂げる体験をしてほしいと思っています。駅伝マラソンは苦しい中でもやりきること諦めない気持ちを持つてほしいと思っています。いずれも子どもが やればできる」という体験を積んでほしいと願います。

広島学園には広大な農場があり、子どもと職員と一緒に土を耕し、野菜を植えるなど汗を流しています。土とふれあい、できた野菜で収穫祭を行い、学校の先生や広島学園の職員と一緒にカレーや豚汁などを作ります。収穫を一緒

に喜び、お互いに良い時間となっています。

このような生活を、地域の関係団体の皆様からの様々なご支援・ご協力により支えていただいています。東広島マツダ会、東広島地区更生保護女性会、東広島ライオンズクラブ、東広島BPO(大学生のボランティア)、広島学園育成会など様々な団体様から、職業体験(講話や職場見学)、花植え、クリスマス会、餅つき大会、長期休暇時のレクレーション行事などの各種行事の開催や、図書等の寄贈など広範囲のご支援をいただいております。

子どもたちも、大勢の大人が応援してくださることを実感し、感謝し、頑張る気持ちを高めることができます。日頃のご支援に感謝するばかりです。新型コロナウイルス感染症の対応も変わり、今年度は、様々な経験を増やしていけることを期待しております。

子どもたちは、広島学園に来ることを望んでいたわけではないと思いますが、子どもさんや保護者の方が、退園後に良かったと思っていただけのような支援ができるよう、職員と研鑽し実践していきたいと思っています。

皆様方には、今後とも変わらぬご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

学園行事

◆第二回進路講演会

*ベバストジャパン株式会社

ブルース・ピアス代表取締役の

講演 夢を変更しても良い」

*工場見学

*体験活動

「サンルーフを組み立てよう」

*昼食・意見交換会

中三 男子

職場体験をとおして、僕は二つのことを学びました。一つ目は、車のサンルーフのみを作っている会社があることを初めて知りました。今まで、サンルーフは高級車についているもので、生産数も少ないから専門の会社はないと思っていたから、専門の会社があり、工場の規模も大きいことを知りました。二つ目は、一つの会社が車を作っているのではなく、いくつかの会社が協力して車を作っているということです。サンルーフのみを作る会社があるなら、他の部品の実を作る会社もあると思います。そうして、いくつもの会社で働く人が協力して一台の車ができていくことに感動しました。他にもたくさんの方の発見や感動がありました。今回は、とても貴重な体験



をさせてもらって嬉しかったです。



◆性教育講座

講師 姫宮助産師

内容



- ①プライベートゾーン
- ②お互いに大事にすること
- ③人工中絶 中三生のみ
- ④女の子の体を気付つけること
中三生のみ

中三 男子

僕が今回の話で一番心に残ったことは、「自分の命の上には更にたくさん命がある」ということです。今まで僕は「自分の命は自分だけのものだ」と思っていました。しかし、「自分の体は、お父さんとお母さんにももらったものなので大切にしなければいけない」ということを改めて感じる事ができました。僕が今こうして生きているのは、親が育ててくれたからです。赤ちゃんの時も子どもの時も、支えてもらわないと生きていけないので、親にしてもらったことを自分が親になった時には、自分の子どもにしてあげようと思いました。今回のことで新た

にわかったこともあったし、改めて思い出すこともできました。これからは、今回学んだことをこれからの生活にしっかり活かしていこうと思います。



◆中国地区児童駅伝マラソン大会

十一月四日 金 山口県 山口

きらら博記念公園

今年度は、山口県で大会が開催されました。海のそばの風光明媚な公園内のコースで、天候もよく、参加した選手はアップダウンの激しいコースにもくじけることなく、きらきら汗を輝かせながら最後まで走りぬいていました。

大会結果

○駅伝の部 五チーム

三位

区間賞 一区、三区

○マラソンの部

・中学生以上 男子 十七名

優勝、準優勝、五位、九位、

十一位、十三位、十六位

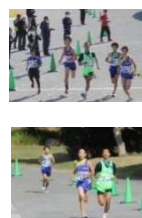
中二 男子

中国地区児童駅伝マラソン大会の駅伝の部で走りました。大会までの練習では、「最後まで頑張ろう」と、どれだ

け体が痛くても気を抜かずに最後まで頑張りました。時々走っているときに先生から注意をされることはあったけど、言われたことを守ることはできました。

大会のコースは、坂や平地などの色々な場所がありました。「コースの坂を上るのが、一番きつそうだな」と、思いました。コースの平地はカーブが多く、「曲がるのが難しい」と、試走でコースを走ったときに思いました。スタート前のタスキ

国地区児童駅伝マラソン大会で本気を出すことができたので、この経験を園内・校内駅伝大会で生かせると思います。次は三キロ走るの、三キロ走することに慣れていこうと思います。今後の練習でも、最後まであきらめずに走りぬこうと思います。



◆第二回収穫祭(豚汁・芋きんとん)

中三 男子

○自分がしたこと

豚汁の材料の皮むき、切る、煮る

○難しかったこと

人参を薄く切ること

すべて同じ大きさに切ること

○楽しかったこと

みんなで話をしながら料理を作れたこと

僕の好きな材料を切れたこと

○出来栄え・おいしさ

芋きんとんは甘くて美味しいかった

さつまいもご飯は、二つの味が

合わさって美味しかった

豚汁は具だくさんで、味噌の味

もちょうどよくて美味しかった

参加して、最後まであきらめずに走り続けることが大切なんだと思いました。次は園内校内駅伝大会があります。中

○感想

僕は豚汁担当になり、材料の皮をおき、材料を切って煮ました。僕は、料理を作る経験がたくさんあったので、うまく役目をこなすことができました。料理を作り終えると、あと少しでみんなと料理が食べれると思います、とてもわくわくしていました。出来上がった料理を食べてみると、どれも芋の味がとても美味しかったです。料理は、一人で作るよりもみんなで作った方が、料理の味が更に美味しくなることが分かりました。僕の楽しい思い出となったので、こういう経験はしっかり大切にしようと思います。



◆文化活動発表会 作文朗読

「相手の気持ちを考えられる自分に」

中三 男子

入園前の僕は、父や弟と家で暮らしていました。他の家よりは少し厳しいところもありましたが、気ままな生活をおくれていたのも、あまり困ることはありませんでした。僕の親は忙しかったので、親がいない時は僕が家事をやっていました。嫌だと思いう時もあったけど、頑張っていました。僕は勉強が得意

ではなかったので全く覚えられず、それが僕のストレスでした。僕が入園した理由は、人を傷つけてしまったからです。入園が決まった時は、僕はとても不安でした。その時、僕が親に言われてことは「頑張れ」という言葉です。僕は、いつもその言葉を思い出しました。僕は、自分を見つめ直そうと思い、今でも頑張っています。入所して最初に感じたことは「不安」です。意地悪な人がいて、「いじめられるのが怖い」という思いがありました。でも、みんなとても優しく、思っていたほど怖くありませんでした。寮生活になれると、相手の気持ちを考える行動することを目標に努力しようと思いました。一年が過ぎて変わったところは、先生の指示を聞くこと、相手の気持ちを考えて、自分勝手に物事を進めないことです。初めの頃は先生の指示を真面目に聞いていましたが、慣れるにつれて緊張感がなくなり、反論することもありました。今は、先生たちの指示は僕たちを守るためのものであることが分かったので、先生の指示を聞けるようになりました。また、入所してすぐのころは、自分のやりたいように行動して何回も注意を受けました。でも、入所後の生活を振り返る中で、それではいけないことに気づくことができ、今ではそういった行動が少なくなりました。

僕がまだ変わっていないことは、いらいのコントロールと面倒なことをすぐに諦めてしまうことです。先生に注意されるといういらし、その感情が表に出てしまいます。本当は、先生に話してストレスを少なくしたいと思っているのに、面倒くさいと思ってあまり話しに行くことができていません。今でもやりたくないことから逃げてしまい、諦めてしまうことがあります。学園生活で身についた、大きな力は二つあります。一つ目は、相手の気持ちを考えられるようになったこと。二つ目は、自分の気持ちを相手に伝えられるようになったことです。僕は言葉で思いを伝えることが苦手です。気持ちを伝えるのが恥ずかしいと思っていましたが、以前よりは言葉で伝えられるようになってきました。僕が退園するまでにできるようになっておきたいことは、いらいのコントロールと物事の良い進め方です。僕はいらいしやすいので、そのあとの行動が難になってしまいます。また、物事を悪いほうに進めてしまいうこともあるので、社会に出るために今のうちに頑張って克服したいです。家庭で頑張りたいことは、家の仕事をきちりやり切ること、家族に自分から積極的に思いやりの行動をすることです。学校で頑張りたいことは、授業にしっかり集中し、わからないことは先生に

聞けるようにすることです。高校や職場で頑張りたいことは、忘れ物を減らすことと積極的に行動することです。社会に出ると忘れ物で信用が失われるので、忘れ物をしないように意識します。僕は積極的に行動することが少ないので、そこも自分からできるように頑張ります。これからの生き方や考え方で頑張りたいことは、後のことを考えることと、人に助けを求められるようにすることです。これからは、伝えられる勇気を持つと思います。人間関係で頑張りたいことは、相手と良い関係になれるようにすることです。将来、楽しく生活ができるように、相手との良い関係を築きたいです。そのために入所の理由でもある、相手を傷つける行為は二度とやらないようにします。僕はこれまで、人を傷つける行為を平気でやっていました。僕がやったことは絶対にやってはいけないことだし、忘れてはいけないことです。同じことを二度とやらないために対策を練ろうと思います。学園で学んだことは、家の生活でも取り組もうと思います。

家族へ

今まで色々なことで迷惑をかけてしまつてごめんなさい。僕は、学園でたくさんさんのことを学びました。まだ足りていないところもたくさん分かりました。こ

れからは、人のためになるようなことをがんばるので、よろしくお願いします。



◆スキー合宿

中三 男子

僕は、鳥取県の大山でのスキー合宿に参加しました。大山までは、バスで行きました。バスの中では、みんなのテンションが高く、注意を受けることがありました。大山に着くと、大雪でバスが雪にはまっけてしまいました。仕方がないので、徒歩で緑荘に行きましたが、予定が大幅に遅れることはありませんでした。緑荘に着くと、お昼ご飯を食べてスキー場に出かける準備をしました。豪田山スキー場の初心者コースで基礎から学びました。僕は、スキーの経験があったので、基礎は全てできました。基礎ができたので、僕は他の人達と別れて初級コースを何回も滑りました。一日目のスキーが終わると、緑荘まで滑って帰りました。宿に帰ってからは、お風呂に入りご飯を食べて、夕会と班長会をして合宿の一日を振り返りました。合宿の二日目は、朝から夕方までスキーをしました。初級コースではなく、中級コースで滑りました。少しスピードも上がって

楽しかったです。途中で一回、上級コースに行きました。リフトから降りてコースを見下ろすと、傾斜が急で中級コースとは比べものになりませんでした。滑ってみると、スピードがつきすぎてブレーキがききませんでした。そこで、コースを横切るように滑ると少しはスピードが落ちて、少し余裕が持てるようになって楽しく滑れました。宿に帰り、冷たい体を温かいお湯につけた時は、とても気持ち良かったです。夕食では、好きなものばかりが食べられてとても幸せでした。合宿の三日目は、昼までのスキーでした。上級コースで、何回も滑りました。最初は少し怖かったけど、途中から慣れてとても楽しかったです。上級コースを滑れるようになるまで成長できたのが良かったです。緑荘でお昼を食べて、バスで帰りました。バスの中では、景色やテレビを見てリラックスできました。寮に帰ると、とても疲れていました。スキー合宿で学んだことは、これからの生活でしっかり活かしていけるように頑張りたいと思います。



◆とんど行事

中二 女子

私はとんどをしたことが無くて、どんな感じかわからない中でたくさん準備の作業をしました。竹を運ぶときは、重たくて大変でした。でも、頑張って運ぶことができました。竹を積む作業もあって、難しかったけど先生の話を聞きながらケガをすることなくできました。とんど行事の日には、みんなで作ったとんどに火がつけられました。火をつけている時は、少し怖かったです。火が付くと、自分の書いた習字が燃えていくところを見ました。先生が「字が綺麗になるように」と言っていたので、私は「字が綺麗になるといいな」と思いました。とんどの火の勢いが収まるまで寮に帰って学習などをしました。そして農場に行き、竹にお餅をはさんで焼きました。焼いてすぐのお餅は、少しびよんと伸びて美味しかったです。焼き芋を先生が作ってくれて食べました。ほくほくで美味しかったです。私は、今年一年はとんどをしたので元気に居れるといいなと思います。



◆第二回 漢字検定(十月) 合格者

準二級：中三 一名
三級：中三 三名
六級：中二 一名
七級：中一 一名

◆第三回 漢字検定(一月) 合格者

五級：中二 一名
六級：中一 二名
十級：小六 二名
小五 一名



《ホームページ》

広島県のホームページの中に、「県立広島学園」のページがあります。支援者の方との交流や学園の行事の様子などを掲載していますので、ぜひご覧ください。

(<https://www.pref.hirosima.jp/sis/hirosimagakuen/>)